

# 桃園第二小学校改築推進委員会 要点記録

## 第 2 回

開催日時	令和5年2月7日(火) 午後6時30分～7時58分	
開催場所	桃園第二小学校	
出席者	委員	須藤直樹、飯村悟、大月啓介、荒山幸次郎、佐藤清一郎、中崎安由未、石井よしみ、荻野嘉彦、中村笑子、山崎義弘、田所貴美子、渡邊健治、藤永益次 (敬称略、名簿順)
	事務局	学校再編・地域連携係、子ども教育施設整備係
会議次第	【議事】 1 新校舎整備の基本構想・基本計画の検討について	

### 第2回 桃園第二小学校改築推進委員会 会議要旨

#### 1 開会

委員長

これより第2回桃園第二小学校改築推進委員会を開会する。本日は傍聴希望者がいる。傍聴についてこれを許可してよろしいか。

—異議なし—

委員長

傍聴者は傍聴券の裏に記述されている注意事項を守り、議事の進行を妨げないようお願いする。

#### (1) 名簿の修正について

委員長

議事の前に、名簿に修正があったとのことなので事務局より説明を求める。

事務局

前回配付した委員名簿において、委員の読み仮名に誤りがあったため、修正する。大変申し訳なかった。

#### (2) 令和小学校施設見学会について

委員長

令和小学校の施設見学会について、事務局より報告を求める。

事務局

1月21日(土)に実施した令和小学校の施設見学会について報告する。当日は、11名の委員に参加いただき、普通教室や、理科室、家庭科室などの特別教室のほか、体育館や校庭、キッズ・プラザなど約2時間見学した。今後の検討の参考としていただきたい。

委員長

令和小学校はとても条件がよく、桃園第二小学校の条件ではあれほどの建物は建てられないかもしれないが、せっかくなので桃園第二小学校らしいものをつくっていったらと思う。

## 2 議 事

### 議事(1) 新校舎整備の基本構想・基本計画の検討について

委員長

議事に入る。「新校舎整備の基本構想・基本計画の検討について」、事務局の説明を求める。  
子ども教育施設課長

■資料2「桃園第二小学校新校舎整備等にかかる進捗状況について」を説明

## 資料2

令和5年(2023年)1月31日  
子ども文教委員会資料  
教育委員会事務局子ども教育施設課

### 桃園第二小学校新校舎整備等にかかる進捗状況について

中野区立小中学校施設整備計画(改定版)においては、桃園第二小学校の新校舎供用開始については、令和9年度中を予定している。

現在、新校舎の改築を円滑に進めるため、改築推進委員会を設置するとともに、新校舎改築にかかる基本計画の策定作業及び代替校舎の改修設計作業を行っており、当該進捗状況について、下記のとおり報告する。

#### 記

##### 1 桃園第二小学校新校舎基本計画について

###### (1) 基本計画策定の現状について

現在、桃園第二小学校新校舎整備については、基本計画の策定作業を実施しているところであり、複数の教室配置プランを事務局で作成し、改築推進委員会(令和4年12月5日設置)において、学校、地域、PTA等委員の方々と検討しているところである。

###### (2) 基本計画策定スケジュールの遅れについて

桃園第二小学校については、区内小学校中2番目に小さい学校敷地であるうえ、2分割されており、一体的な校舎建設が難しく、まとまった床面積を確保することが難しいなど制約条件が多い。

一方で、35人学級対応のための教室数増加、キッズ・プラザ機能、一定規模の運動場の確保など、現校舎から新校舎への追加する機能が多くある。

より良い教育環境整備の観点から、このような条件の下での新校舎整備の検討に時間を要している状況であり、基本計画策定については、中野区立小中学校施設整備計画(改定版)において、令和5年3月を予定していたが、令和5年9月に遅れる見込みである。

###### (3) 基本計画策定(予定)について

令和5年 2月～5月 改築推進委員会  
6月 基本計画(案)まとめ  
9月 基本計画策定

#### (4)今後の整備スケジュールへの影響について

基本計画策定作業が半年ほど遅れることにより、その後の基本設計・実施設計業務についても、令和5年4月から準備し、7月から開始する予定であったが、約半年遅れ、令和5年度から令和7年度にかけて実施する予定である。

また、新校舎の具体的な整備スケジュールや供用開始時期については、基本計画(案)がまとまった時点で明らかにする予定である。

## 2 代替校舎整備について

### (1)代替校舎整備の現状について

桃園第二小学校については、新校舎改築時には、旧中野中学校を代替校舎として使用する予定であり、現在、内装等工事の基本計画・基本設計及び耐震補強設計を行っているところである。

### (2)代替校舎整備スケジュールの遅れについて

旧中野中学校については、桃園第二小学校および桃花小学校の代替校舎として使用する予定であり、このため、現在の中学校仕様から小学校仕様への変更、給食施設の再整備、老朽化した電気・機械設備の更新工事が想定よりも大規模になることが内装等工事の基本計画・基本設計作業において判明した。

また、児童の安全な環境整備のため、旧中野中学校の耐震強度を他の学校施設と同等にする工事が必要であり、当該工事が当初想定よりも大規模になることが耐震設計作業において判明した。

このように検討している内装等工事及び耐震補強工事が想定よりも大規模となることが予想されることから、代替校舎の供用開始については、中野区立小中学校施設整備計画(改定版)において、令和7年4月を予定していたが、令和8年4月に遅れる見込みである。

### (3)今後について

令和5年 3月～令和6年 6月	内装等工事实施設計
令和5年10月～令和6年 9月	耐震補強工事
令和6年12月～令和8年 3月	内装等工事
令和8年 4月	代替校舎供用開始

子ども教育施設課長

資料3については、設計業者から説明する。

環研

■資料3「桃園第二小学校校舎整備における基本構想・基本計画の検討状況について」を説明

## 桃園第二小学校新校舎整備における基本構想・基本計画の検討状況について

- 引き続き、それぞれの課題の整理、防災機能の検討などの作業を進めました。

### 【前回提示した案の概要 ＊前回資料より抜粋】

#### 配置パターンA1, A2 (L型配置)

- ・ 現況と同様に校舎をL型の配置として、東側敷地に普通教室や事務関係を中心とした学校施設、西側敷地は地域開放、特別教室等を中心に構成する。
- ・ 多くの教室を日照条件の良い南面に向けるように配置することが可能。
- ・ A1案は西校舎の特別教室等との連携を考慮して東校舎を西よりに配置
- ・ A2案は中央道路側からの開放的な景観、見通し等を考慮した現行校舎同様の配置

#### 配置パターンB (ブロック型)

- ・ 東西敷地への施設構成方針はA案と同様とするが、東側敷地の校舎を東西軸に長辺をもつブロックとする。
- ・ 日影規制の影響を受けにくい配置であり、平面を有効に利用できるためコンパクトな構成が可能。
- ・ 中廊下の通風や採光を考慮して吹抜けを設ける必要がある他、教室は西側や北側に面する配置も行う必要がある。
- ・ 北側の民地に対し、防球ネットや視線の対策が必要。

### 【それぞれの長所 短所】

#### 配置パターンA1

##### (長所)

- ① 南向きの教室が多く確保可能（日照条件が良い）。
- ② 西校舎と東校舎の動線が短く移動時間が短い。

##### (短所)

- ① 敷地北側は、3階以上の部屋が日影規制の影響により有効利用できない。
- ② 給食室の匂いや騒音は、学校東側住宅に影響が生じやすい。
- ③ 西校舎と東校舎に挟まれた道路は、3階建ての建物に挟まれることになり、日照（明るさ）の面で不利、夜間の防犯面に課題がある。

#### 配置パターンA2

##### (長所)

- ① 南向きの教室が多く確保可能（日照条件が良い）。
- ② 西校舎と東校舎に挟まれた道路は、日照（明るさ）があり、防犯の観点で安全性が確保される。

##### (短所)

- ① 敷地北側は、3階以上の部屋が日影規制の影響により有効利用できない。
- ② 東校舎の東側から西校舎への動線が長い。（現在と同程度）

## 配置パターン B

### (長所)

- ① 配置パターン A より、3 階以上の部屋への日影規制の影響が少なく 3 階まで有効に使える。
- ② 西校舎と東校舎の動線が短く移動時間が短い。

### (短所)

- ① 南向きの教室が少なく採光、通風の為の吹抜けが必要（吹抜けの安全対策、構造は要検討）。
- ② 給食室の匂いや騒音は、学校東側住宅及び北側集合住宅に影響が生じやすい。
- ③ 校庭からの騒音・視線は、北側に隣接する集合住宅に影響が生じやすい。
- ④ 校舎北側集合住宅側への安全対策として防球ネットの設置が必要となり工事費増。
- ⑤ 西校舎と東校舎に挟まれた道路は、3 階建ての建物に挟まれることになり、日照（明るさ）の面で不利、夜間の防犯面に課題がある。

## 【考察】

- ・ A パターンと B パターンを比較した場合、B パターンの短所は、解決しにくい騒音や匂いなど近隣への影響が生じ、また防球対策など安全面に難が生じやすく、費用的負担も大きくなりやすい。
- ・ A1 パターンと A2 パターンを比較した場合、動線が短い点については A1 パターンに長所がある。ただし A2 パターンの動線は現況程度である（許容範囲と考えられる）。両者を比べた場合、2 敷地間の道路の景観や明るさ（防犯面）、東側宅地への騒音や匂いといった近隣への影響面を考慮すると A2 パターンの方が優れた配置計画と考えられる。

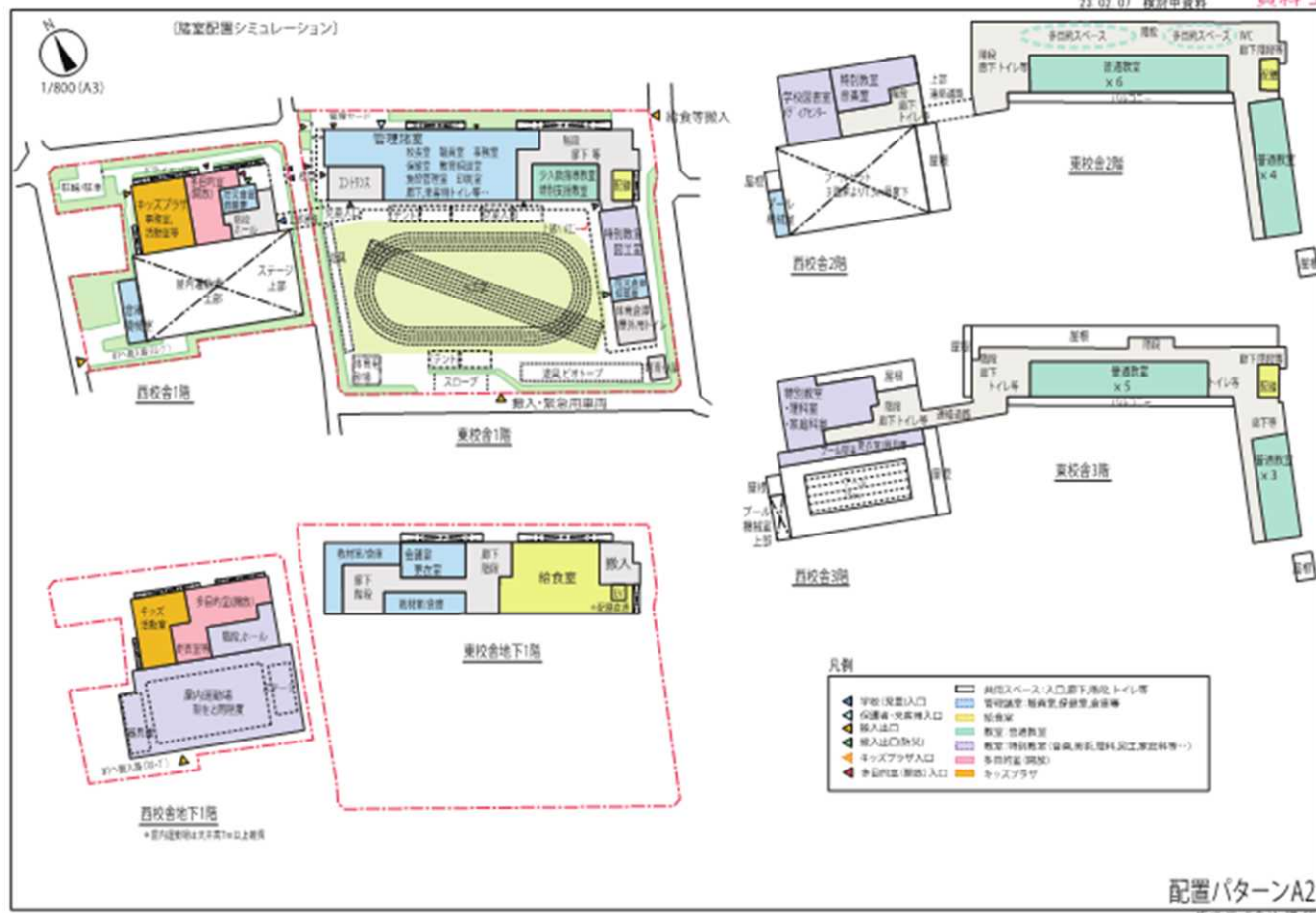
## 【防災機能の検討】

- ・ 学校には災害時の防災倉庫/備蓄庫を備える。
- ・ 防災倉庫/備蓄庫は、備品の搬入出や災害訓練にも利用しやすいよう地上階に配置する。
- ・ 防災倉庫/備蓄庫は、車両が寄り付きやすいよう道路に面した位置に設置する。

## 〔配置シミュレーション 参照〕

### 主な変更点

- ・ 防災倉庫/備蓄庫は、西校舎 1 階と東校舎もグラウンドに面した 1 階に設置した。
- ・ 音楽室は楽器などの置場を確保するために、2 階に配置。
- ・ 教材倉庫等を地下に移動し、2 階の廊下を広くして多目的利用可能とした。
- ・ 管理諸室北側に、保護者・来客用の入口を設置。
- ・ 地下に給食室関係を設置するための動線や、児童、開放施設などの動線は引き続き検討。



子ども教育施設課長

1つは新校舎整備の遅れについて、もう1つは前回配付した配置パターン3案のうち、配置パターンA2案を選択することについて、確認いただきたい。

委員長

整備の遅れについて、PTAの皆さんは知らなかったか。

委員

知らなかった。

委員長

今年度を入れてあと3年現校舎を使用し、代替校舎の使用が2年半くらいか。

子ども教育施設課長

そうである。

委員長

代替校舎となる旧中野中学校の耐震補強工事には高額のコストがかかるという話を聞いたが、代替校舎と言っても、耐震強度が低いところに子どもたちを通わせるわけにはいかないから、そこはしっかりやってもらいたい。プレハブを建てたらどうかと聞いたが、費用的にはそれほど変わらないとのことである。人数が多い桃花小学校の代替校舎としても使うので、それにも合わせなくてはならない。問題点としてはプールが使えない可能性があるということだが、教育委員会のほうで近隣の小中学校と調整し、どういう形で水泳授業ができるか考え、PTAの皆さんに周知して欲しい。

委員

在校生の保護者は、どちらかというと新校舎よりも、代替校舎のほうが気になっている。耐震補強のためであれば、遅れることは仕方がないが、この内容だけで保護者に伝えると、混乱が起きるだけだろう。今後の予定というのは、もうこの通り伝えて問題ないか。

子ども教育施設課長

これは議会の資料であり、区の公式の見解なので、伝えて良い。代替校舎について説明会など

をすることはあまりないが、今回の旧中野中学校については工事の影響もあるので、区として公にすることを検討している。プレハブの案も検討したが、校舎が3列になってしまい運動場がとれないので、子どもたちの教育環境としては難しく、校舎を改修するのが一番良いと判断した。安全強度は確かなものにする予定なので、安心してもらえるだろう。現時点では報告できる内容が少ないが、今後明らかにしていきたい。

委員

ぜひ願います。子どもや運動場、耐震のことなどを考えて動いているということをはっきりさせたほうが良い。そのあたりも盛り込んだ内容で、まとめて報告してもらったほうが保護者にも伝えやすい。

子ども教育施設課長

ご意見については、承知した。

委員長

耐震設計などが整った段階で、小学校で説明できるか。

子ども教育施設課長

まだ未定だが、一定の説明は必要だろう。新校舎のスケジュールが明らかになるのは基本計画上6月の予定だが、情報を出すタイミングは検討したい。

委員

本日いただいた資料は、保護者に展開する必要があると思っているが、展開する際に、代替校舎については追って区のほうから説明があるという文言を入れるだけで、違うと思う。

子ども教育施設課長

説明の必要性はあると思うが、説明会をするのか、それとも推進委員会のメンバーに共有するのかなど、持ち帰って検討する。

委員長

それでは、説明時期や方法については検討してほしい。

委員

12月15日の第1回推進委員会の時に示された移転スケジュールでは、令和7年4月に代替校舎へ移転予定となっていたが、まだ1か月半ぐらいしかたっていないのに、今日1年遅れになったと発表するとはどういうことか。旧中野中学校を代替校舎として使うのは何年も前から分かっていたはずである。

子ども教育施設課長

前回、12月15日のときには、今年度末にはこの基本計画を上げるということを想定しながら計画していた。ただ、複数の配置パターンを検討する中で、やはり検討に時間を要することがわかり、発表が今回になってしまった。

委員

令和8年4月に遅れる見込みであるということだが、時期は断言できるのか。

子ども教育施設課長

申し訳ないが、時期は基本計画（案）の取りまとめの際に明らかにしたい。工事の中でまた何か起きてしまうと、また遅れるということはあるが、見込みとしては工事は2年間で終わる予定である。

委員

遅れると児童に迷惑がかかるので、よく考えていただきたい。

委員

保護者の方には細かく丁寧に説明していったほうがよく、PTA総会などで伝えたいと思う。学校からも、4月の保護者会で、スケジュールが変更になりそうだとすることは説明したいと思うが、そのときに、事務局からも状況を説明してもらえると、保護者の理解も進むのではないかと。その後、6月に基本計画（案）が完成し、新校舎の供用開始時期がはっきりしたら保護者向けの説明会を開くといった流れにしたらいかがでしょうか。

子ども教育施設課長

検討したい。

委員長

3年間プールが使えないことについても、これから考えてもらわないといけない。

委員

使えないだけではなく、代替案を提示してほしい。

委員長

次に、配置パターンについて協議する。前回示された配置パターンA1案、A2案、B案の3つの中から、今日は1つに方針をまとめたいが、意見はあるか。

委員

P T Aの中で一足制を反対する声があったが、一足制を進める理由を説明してほしい。

事務局

一足制導入の経緯としては、教育委員から、全国の自治体の事例を見て中野区でも導入してはどうかとの話があったことがきっかけだった。メリットとしては、教育活動上、靴を履いたまま校舎と外の出入りができ、スピード感があることである。下駄箱があるエントランスで児童が滞留してしまうが、一足制ではそのようなことがなく、一足制を導入している学校からは、コロナの時期でもそういうところで密にならないのはメリットが大きいと言われた。防災上も避難しやすい。また、一足制で校庭がダスト（土）だと持ち上がってしまうので、一足制と人工芝はセットで考えていくが、人工芝は評判が良い。特に雨が降った後、ダストだと水はけが悪く、翌日使えないことがあるが、人工芝は水はけが良く、翌日もすぐ教育活動ができるという声を聞く。

施設面でも、下駄箱エリアが要らなくなる分、そのスペースをほかの教室などに割り当てられるので、狭い敷地の学校に向いていると考えられる。

委員

一足制の弊害などはいかがか。

事務局

靴を揃えることも学校教育ではないかといったことや、衛生上どうなのかということから、上履きと分けるべきだという意見をいただくこともあるが、靴を揃えることは、学校教育ではなく、家庭教育の範囲と考える。令和小学校をご覧いただいたとおり、汚れている等ということはなく、用務員がとても丁寧に掃除している。学校によっては感染症対策として、アルコール消毒用のマットと乾いたマットを踏んでから校舎に入るといったような工夫もしていた。

委員長

初期の頃は、子どもが長靴を履いてきて、体育が長靴でできないというようなことがあったと思うが、そういう問題はほかの学校から聞いていないか。

委員

子どもたちも保護者も慣れてくれば、もう1足置いておくなどの工夫ができるのではないか。体育館には体育館用シューズがあるので、体育館での体育はできる。

委員長

一足制に関する事務局の説明に不足はないか。

委員

P T Aに説明する。

委員長

配置パターンについては、今日は資料3の配置パターンA2案が示されているが、こちらの案で進めていくということに関して反対はないか。

—異議なし—

委員長

では、配置パターンA2案で考えていく。これを見ていただいて、なかなかすぐに意見を出すのは難しいかもしれないが、いかがか。



委員

東校舎と西校舎の連絡通路はどのような形になるのか。

子ども教育施設課長

3階にある、上空の連絡通路になる。

委員長

つくるのに時間がかかるのではないか。

子ども教育施設課長

やはりこういったものは時間がかかるが、子どもたちの安全上必要なものである。

副委員長

構造上難しく、時間がかかるのか。

子ども教育施設課長

広い土地に立てる訳ではないので一定の難しさがあり、構造上、工事の期間がかかったり、設計でも時間がかかる。

委員

上空連絡通路ができれば、児童は西校舎と東校舎の移動で下の区道を使うことはなくなるのか。それとも、今までどおり、下の区道も使って移動するのか。

委員

連絡通路ができれば、外に出るよりは、安全のため連絡通路を使う。そのため、子どもたちの生活スペースも2階と3階になる。

委員

校舎の上層階は高学年の教室か。

委員

現在は、世話をする関係で1年生と6年生が2階にいる。校長の考え方で変わる場合もある。雨などのことを考えると連絡通路は良いと思う。

委員長

連絡通路の幅は、どれぐらいか。

子ども教育施設課長

3メートルである。

委員

道路自体の拡幅はしないのか。

子ども教育施設課長

道路はそのままである。

委員

早稲田通りから途中までは新しいマンションができたために少しセットバックしたが、学校のところは狭いので、少しセットバックしていただくと良い。あそこは区道だが体育館の西側の道路は私道なので、体育館からの搬入の場合は私道を通してしなくては行けないが、車を止めることはできるのか。

子ども教育施設課長

基本的には給食等の搬入は東側の区道から行う。セットバックすると道は通りやすくなると思うが、そうすると、また校舎の面積が削られる。

委員長

やはり学校の土地が削られるのはとてもつらい。真ん中の道も学校の土地にするというのもいろいろと問題があるようである。キッズ・プラザを同じ階に一つにまとめることはできないのか。

子ども教育施設課長

地域開放用の施設は1階にも必要だと考えている。

副委員長

キッズ・プラザの隣の多目的室（開放）というのは、具体的にはどういう用途のものなのか。

子ども教育施設課長

地域開放型学校図書館を一応想定として入れている。

副委員長

中央図書館が近いので、狭いこの校舎の敷地の中に、一般開放するような図書館をつくる必要はないのではないか。

委員長

地域開放型学校図書館についてはまだ正式に決まっていないので、取りあえずスペースだけは設けているとのことであり、来年度中には方針が決まるのではないかと。キッズ・プラザはとても狭く、これで学童クラブが入るのかなど、様々な問題がある。文園児童館廃止後の外遊びの施設をイメージとして出しているが、具体的ではない。

委員

文園児童館がなくなると、学童クラブも一緒になくなるのか。

委員長

現状ではそうだと思うが、桃園第二小学校の改築が終わらない限りは、文園児童館はそのままだろう。キッズ・プラザと学童クラブを学校に入れるというのが区の方向性だと思う。

委員

1階と地下1階のオレンジの部分が、誰もが行ける児童館と学童クラブとなるのか。

子ども教育施設課長

そのように想定している。

委員長

防災倉庫についてはどうか。玄関ホールを入った一等地にあり、教室ぐらいの広さがあるということである。黒タグになった方（災害で亡くなった方など）は、先に完成する予定の隣の区民活動センターで一時収容するとしないと、子どもたちが普段使う場所に遺体があるというのは、後々まで子どもたちの中に残ってしまうと思う。最終的に亡くなった方は中野体育館に運ぶというのが防災の方針だが、最悪の場合は、とても運べるような状況ではないと思う。投票所は区民活動センターに移るのではと思うので、投票所のスペースは確保しなくても良いだろう。防災の面から、この案についてどう思うか。

委員

確かに、ここはもったいない。西校舎1階の体育館左横の倉庫・機械室の左側の緑のところはなければいけないスペースか。

委員長

私もそこに何かつくれないのかと話をしたが、プールの受水槽を設置しなければいけないだろうという話だった。それならば西側からスロープで地下に下りるところがあるので、地下に防災倉庫も並べたほうが良いのではないかと。

子ども教育施設課長

今の件は指摘されることが多いが、こういった設備の配置などは基本計画の中でも検討するし、基本設計の中で決めていくことも可能である。やはり配置してみて、やはり上ではないなというのが出てくると思うので、意見を参考にして、また検討したい。

委員長

いつまで基本設計（案）について意見は言えるのか。

子ども教育施設課長

基本計画（案）もまだ期間があり、基本設計も期間はある。

委員長

東校舎の地下は、最初は給食室と分かれていたような気がするが、全部掘るのか。

子ども教育施設課長

現段階では、1階の北側の地下部分が掘られている状況であり、ここからもう少し掘ると、経費と工期がまた延びてしまう。中野区では地下に給食室を設置している例がなく、設計上心配だ

ったが、先日、多くの学校で給食室が地下にある千代田区に訪問し、動線などの情報やメリット・デメリットなどを聞いたので、それを参考に設計したいと思っている。メリットとしては、地下階だと虫等が入らず、衛生的に良いと聞いた。ただ、まだ配置しただけなので、今後動線や必要な物品などを考える必要がある。

委員長

ほかにあるか。

委員

人工芝でも、野球の練習はできるのか。

事務局

導入しているのは、野球やサッカーに耐え得る人工芝であるが、スパイクを使う運動を可とするかは各学校の方針による。

委員

おやじの会があり、桃園第二小学校の校庭でキャンプファイヤーをやっている。人工芝になってもやりたいとなると思うが、人工芝の耐熱性などを教えてほしい。

事務局

人工芝は、火には弱い。

委員

かさ上げなどの対策をすれば良いのか。

事務局

そこまで確認したことはないが、防災訓練などでも、人工芝の学校では、火は土間コンクリートのほうで使用してくださいという話はしている。いざ本当に災害が起きたら、そのようなことは言っていられないので、校庭の中でやることになると思う。

委員

学校の判断だろう。また、防球ネットについて、少年野球でもボールがネットを越えることがあるので、もっと高くしてほしいというリクエストもできるか。

事務局

一定の高さを超えると準用工作物といって、基準法に一部引っかかることがあるため、それよりも低い高さに設定することが多い。

委員

基準の範囲内でぎりぎりまで高くという要望はさせていただいて良いか。

事務局

可能である。

委員長

次回までに、どれぐらいまで高くできるか教えていただきたい。

委員

桃園第二小学校は、昭二町会、文園町会、天神自治会の避難所に指定されているが、改築中は避難所指定はどうなるのか。

事務局

所管である防災危機管理課に確認し、次回、回答する。

委員

防災倉庫・備蓄庫が西校舎1階と東校舎1階の2か所あるというのは、必要な面積を確保したらこうなったということか。

子ども教育施設課長

新校舎建築の際には必要な防災倉庫の面積が算出されるが、それを確保するには、1か所に固められなかったため、2か所になった。

委員長

聞いたところ、桃園第二小学校の防災倉庫には明治大学附属中野中学校の防災用品も一部入っ

ているので、それも防災危機管理課のほうで確認が必要になるだろう。

委員

避難所開設すると医療救護所も同時に開設ということになり、黒タグなどの話になるが、そのあたりの運用時等の連携について、防災危機管理課と教育委員会とで検討してほしい。

委員

西校舎1階の西側のところが搬入路（スロープ）となっているが、体育館の下の少しへこんだところに、区民活動センターの地下へ行く通路と共同のスロープをつくれないうか。区民活動センターは今のところ、スロープをつくる予定はなく地下へ行く階段だけだが、避難通路と物品搬入を兼ねて共有のスロープをつくったほうが利便性もあるし、経済的ではないか。さらに東側の区道のほうに出口をつくれれば、地下1階から校庭にも物を運びやすくなるし、物品管理は楽になると思う。区民活動センターの建て替えと一緒に考えたほうが良いのではないか。

委員

区民活動センターと学校で共用のスロープをつくると、学校敷地内に一般の方が容易に入ってきてしまうので、保護者としてはそれは避けてほしい。

委員

学校の体育館側にフェンスをつけ、地下へのスロープに扉をつけて常時鍵はかかっているという状況にすれば良い。

子ども教育施設課長

スロープを東側からつけるということか。ご存じのとおり、体育館側に比べ、区民活動センターの地盤はグラウンドレベルがかなり下がっており、この境に道をつくろうとすると、体育館のラインを削る必要が出てくる。

副委員長

B1への搬入路というのは車が通れるのか。

子ども教育施設課長

3メートルの道路であり、車両が通って、地下体育館から物を運び出すことができる。

副委員長

体育館下東側の赤の破線で区切られている部分で3メートルはとれないということか。

子ども教育施設課長

段差を揃える必要があり、そのためには体育館側が削られて、体育館がより小さくなる。

委員長

なかなか難しいことがわかった。

子ども教育施設課長

区民活動センターとの間の非常用の階段のようなものは検討したいと思う。

委員

階段をつくる場合、幅の制限はないか。

子ども教育施設課長

階段なら問題ない。

副委員長

当初の配置パターンA案で、今東校舎の多目的スペースとなっている部分にあった教材室が全部地下に行ってしまうているが、学校側が使用するのに問題ないか。

委員

子どもたちが活動する部屋以外はできるだけ地下に入れるということが大事だと思っており、エレベーターもつくので、大丈夫である。

委員長

本日は、配置に関して配置パターンA2案を基本に進めていくことを確認した。次回開催日は7月頃とのことである。時期が近づいたら、開催通知を事務局から送付する。

本日の推進委員会はこれをもって終了する。